

逗子小だより

2023年9月8日(金) No. 6

逗子市立逗子小学校

逗子市逗子4-2-45

046-873-2050

校長 すぎやま ひでと 萩山 英廷

ホームページ URL <https://www.city-zushi.ed.jp/e-zushi/>

夏休みの成果を活かして～9月からもよろしくお願ひします～

42日間の夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が校舎に戻ってきました。9月1日(金)には、オンラインで朝会を行いました。校長より全校児童に下のように話をしました。(抜粋)

今日から授業の再開になります。新型コロナウイルスの扱いがインフルエンザ並みになってから、初めての夏休みでしたが、普段できないことや普段できない勉強、友だちと遊んだり、家族と過ごしたり、楽しい夏休みになったでしょうか？

猛暑の中の夏休みでしたが、大きな事故やけが、病気の報告もなく、無事に終わり安心しています。

7月、8月は、「危険な暑さ」と言われるような猛暑が続きました。

外に出ることを控えて、冷房が効いた室内で一日中過ごすことも多かったのではないのでしょうか？無理のないように少しずつ学校生活に体を慣らしてください。具合が悪いときは、決して無理せずすぐに先生につたえて、体を休めるようにしてください。

この朝会の後、防災の学習から夏休み明けの最初の勉強が始まりますが、皆さんが楽しみにしている、修学旅行や林間学校、遠足や校外活動など、教室の外で行われる活動もたくさんあります。事前の準備が大変ですが、いい学習になるようにしっかり準備をして、授業や活動を楽しんでください。

夏休み明けも楽しい逗子小学校になるよう、また、皆さんが気持ちよく生活できる逗子小学校になるように、協力していきましょう。よろしくお願ひします。

また、9月から 国際教育指導助手(IEA)として、バーバラ・ジェーン・キャンティラさん、スクールサポートスタッフとして、栗山 智恵^{ともえ}さんが着任されました。また、学習支援員の宮下 智子さん、堀井 美恵子さんが退職となりました。心新たに、子どもたちとの学びをつかっていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

→夏休みに子どもたちが力を注いだ自由研究や創作活動の作品がクラスやオープンスペースに飾られています。興味関心があることや好きなことについて調べたり、表現されたりして、どれも思わず手に取ってみたいくなる作品ばかりでした。



関東大震災から100年。9月1日防災の日に防災学習をしました

9月1日の1時間目には、各クラスで防災学習をしました。2011年3月11日に起こった東日本大震災の実話に基づいた「釜石の奇跡」というアニメを用いて、自ら率先して避難する大切さやいざという時に考えるべきことなどを学びました。

11月7日(火)には、逗子文化プラザ合同防災訓練の一環としてシェイクアウト訓練(下欄を参照してください)を実施する予定です。地震のみならず、火災や不審者への対応の訓練を計画的に行い、日頃から、子どもたちが自らの命を守る学習を進めていきたいと考えています。

●シェイクアウト訓練(いっせい防災行動訓練)とは
災害時に落ち着いて行動できるように、自分の身を守る3つの安全確保行動(①まず低く②頭を守り③動かない)を一斉に行う訓練です。



いざという時に備えて～おうちのひとと話し合おう～

9月5日(火)3・4時間目に4年生の社会科の授業として、逗子市役所の防災安全課の皆さんをお招きし、逗子市の防災について学びました。担当の方から「自助＝家族と協力して自分の身を守る」「共助＝地域の方と共に助け合う」「公助＝行政の力を借りる」という3つの救助について教えていただきました。いざという時には「おうちの人とハザードマップなどを確認して、どうするか決めておくことが大切」とのことでした。4年生だけでなく、どのご家庭でもいざという



時に備え、日ごろから話し合いをしていただけると良いと思いました。

←体育館(避難所になります)前に設置された防災倉庫
→給食室横に設置したマンホールトイレ



☆PTAより～いつも、子どもたちのことをともに～☆

☆8月23日(水)映画「夢見る学校」上映会&お話し会を開催し、子どもたちと共につくる学校について、映画を見ながら、みなさんで考えることができました。

☆逗子小Tシャツデザイン募集中です! 15日(金)までに校長室前BOXへ出してください。